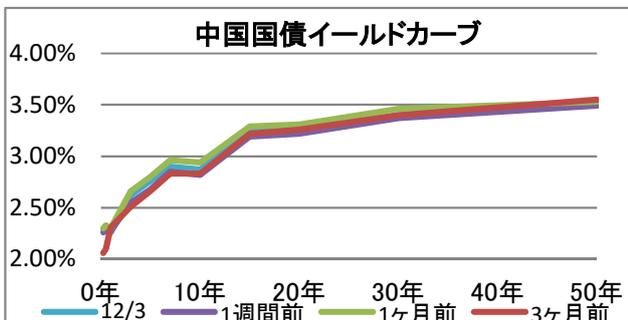
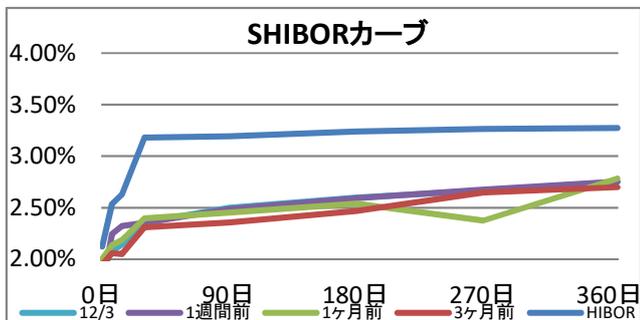


## ①市場概況

基準レート		2021/12/3	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3738	-0.0198
	JPY/CNY	5.6371	0.0867
SHIBOR	3M	2.4990%	+0.0130%
国債利回り	10年	2.87%	+0.05%
上海総合指数		3,607.43	+43.34



### (1) 概況

COVID-19変異種オミクロンの感染拡大懸念と米国の早期利上げ懸念の高まりから、世界的に株式市場が上値の重いリスクオフの展開となる中、週末の米雇用統計での雇用増加が予想を下回ったことから債券利回りは一段と低下している。米国では証券取引委員会の外国企業説明責任法採択により監査状況検査を受け入れない企業の上場廃止方針を示す中、中国政府が懸念を示していると伝えられる中国配車アプリ大手が米国上場を廃止して香港への上場方針を決めている。

中国金融市場では、中国政府の不動産市場の安定化対応や中央経済工作会議への期待から株式市場は底堅くじりじりと上げる展開となった。債券市場は前週末に国債利回りが急低下していた反動から上昇に転じた以外に大きな変化はなく、外為市場では元高に振れていたものの元高への警戒感が強くドル人民元は底堅く推移している。国家外貨管理局は外為市場取引の一層の公平性と透明性の確保を目的として外為市場取引行為規範ガイドを公表している(来年1月適用)。

中国では、EUが新興国向けの大規模インフラ投資計画を公表し、EUと米国がハイレベル対話で台湾海峡をめぐる懸念を表明し、米国での民主主義サミットを控える中、中国民主白書が発表されている。劉副首相は今年の経済成長が目標を上回り、来年の成長にも自信を示し、李首相は穏健な金融政策の維持と必要に応じた預金準備率を引き下げによる実体経済、特に中小企業を支援する姿勢を国内にアピールしている。また、金曜日に債務保証請求によるデフォルト懸念を公表した不動産大手企業に対し、広東省政府が監督チーム派遣を決め、金融当局からもコントロール可能で、中国経済や不動産市場、金融市場の中長期的な安定に影響はないとのコメントが出されている。

### (2) 金融市場調節

中中国人民銀行は、リバースオペ期日4,000億元、MLF期日2,000億元、中央国庫商業銀行定期預金700億元の合計6,700億元に対し、新規リバースオペ2,300億元を実施し、4,400億元を吸収している。

### (3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局PMI (11月) は、製造業50.1 (10月49.2)、非製造業52.3 (同52.4)、総合52.2 (同50.8) と電力制限や材料費高騰の影響緩和により製造業が弱含みながら3ヶ月ぶりに50を上回る一方、非製造業は50を上回っているもののCOVID-19感染対策等で頭打ちの状況。
- ・ 財新PMI (11月) は、製造業49.9 (10月50.6)、サービス52.1 (同53.8)、総合51.2 (同51.5) と、製造業が新規受注の低迷から雇用に慎重となり、サービスも受注が頭打ちとなっている。

## ②資金市場

2.09%

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9130%	1.8500%	2.0500%	
1W	2.0780%	4.0000%	2.0900%	
2W	2.1450%	2.1000%	2.4000%	
1M	2.3570%	2.6500%	2.0500%	2.5000%
3M	2.4990%	5.5000%	6.0000%	2.5300%
6M	2.6000%	3.4000%		2.6100%
9M	2.6660%			2.6625%
12M	2.7510%	3.9000%		2.7000%

中国人民銀行は月末を乗り切ると市場予想通りの資金吸収を進めており、翌日物が2%前後と金利水準は安定している。債券発行や年末が意識されるものの中国人民銀行の金融調節への信頼から市場参加者に取り急ぎは見られない。ターム物は1ヶ月の2.7%前後での出合いを除き限定的。

NCDも、国外からの資金流入もあって活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月(年末越え)が2.50%前後、3ヶ月が2.5%台前半、6ヶ月が2.6%台前半、1年が2.70%前後で取引されている。

### (2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.02%	0.03%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.25%	0.30%
6M	0.35%	0.40%
12M	0.45%	0.50%

年末要因と金融引き締め早期化懸念から金利水準の高止まり傾向が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10%、3ヶ月は0.30%、6ヶ月は0.40%をそれぞれ挟んだ取引が続いているが、出合いは限定的。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.29%	2.31%	2.50%	2.62%	2.90%
6M	2.29%	2.31%	2.51%	2.71%	2.99%
1Y	2.26%	2.39%	2.73%	2.75%	3.04%
3Y	2.62%	2.78%	2.88%	3.03%	3.88%
5Y	2.76%	2.98%	3.18%	3.35%	4.32%
10Y	2.87%	3.25%	3.47%	3.74%	4.71%

債券市場では、前週末にオミクロン感染拡大への懸念から国債が大幅高（利回り急低下）となっていたことから、社債市場での債務不履行や年末要因への懸念から徐々に値を下げる（利回り上昇）展開となった。利回りは10年国債が2.87%（前週比+0.05%）まで上昇しているものの、2週間前との比較では依然-0.06%低い水準。

イールドカーブは、中長期国債を中心に前週末の急低下の反動から上昇に転じているものの、信用債利回りは横ばいから低下する中で、全体的にスティーピングに転じ、クレジットスプレッドはやや大幅な縮小に転じている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.5 / 28.6
1M	187.1 / 187.3
3M	475.6 / 477.0
6M	883.3 / 884.0
9M	1282.0 / 1282.8
12M	1670.9 / 1671.0

対ドル基準レートは6.3738と前週末比-198pipsのドル安元高、対円基準レートは5.6371と同+867pipsの円高元安と対ドルでは元高となっている。国内市場では、企業の外貨売りによる元高が続き一時6.35台まで元高が進んだものの、基準レートの元安気味の設定を当局の元高懸念と受け止め、6.37台まで戻している。

先物は、米中金利差縮小期待はあるものの、国外投資資金の流入もあってスワップ幅は小幅ながら拡大しており、1年物は1600台後半に戻っている。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.30%		2.12%
6M	2.30%	2.55%	2.11%
9M	2.31%	2.58%	2.14%
1Y	2.33%	2.60%	2.16%
3Y	2.51%	2.90%	2.33%
5Y	2.71%	3.16%	
7Y	2.85%	3.32%	
10Y	2.99%	3.48%	

スワップ金利は、国債利回りが上昇に転じてスティーピングしたこと、ほぼ同様の動きとなっている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、前週の反動から縮小に転じているものの縮小幅は限定的。

###

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。